

岐阜新聞真学塾

出題 蜚雪ゼミナール

則武校・船橋巧



全科目を指導しています。英語の学習を通じて、全科目に通じる勉強法を紹介します！

問題【英語】

今日はitについて詳しく見てみましょう。次の(1)～(3)の文を日本語に訳してください。

- (1) “Whose pen is this?” “It is mine.”
- (2) It was raining when I left home.
- (3) It is important to study English hard.

豆知識 雑学コラム

「それ」だけじゃないit

皆さんはitの使い方を、どれだけ知っていますか？
このように聞くと、「itは『それ』だよ」と答える人が多いのではないのでしょうか。(1)のように「それ」の意味で使うこともあります。が、(2)や(3)のように他の使い方をするものの方が多いです。

まずは(2)のitについて見てみましょう。It was rainingの訳は「雨が降っていた」ですが、これを見るとitが雨と訳されているように感じてしまいます。しかし、動詞のrain自体に「雨が降る」という意味があるので、このitは訳には一切出ていません。このように、天気を表す文の主語にはitが使われますが、「訳されない」ということがポイントです。では、なぜこのようにitが使われるのでしょうか。「英語には主語が必要」という原則を守るには、主語の位置に何か置かなければいけませんね。その際にitが使われるのですが、なぜ他の単語ではダメなのでしょう。これには諸説ありますが、itは「話し手と聞き手が共通に認識できるもの」を指す、という考えが納得しやすいと思います。この考えに基づくと、何の脈絡もなくいきなりitが出てきたら「今は何かわからないけど、この先で認識できるだろう」と考えられます。そこにrainという動詞が出てくるので、「天気の話だったんだ」とわかり、共通認識が生まれるのです。

「この先で認識できるだろう」という考えから、(3)のitが出てきます。このitが指しているのは、後ろのto study English hardです。このようなitは仮主語(or形式主語)と呼ばれます。詳しくは後日述べますが、英文は長い要素、新しい要素を文の後ろに置こうとする傾向があるので、長い主語を後ろに置き、「これから先に主語が来るよ」の合図としてitを置くのです。

他にもitの役割はありますが、まずは今回出てきたitをしっかりおさえましょう！

「それ」と訳す	前に出た内容
訳されない	時間・天候・距離・寒暖・明暗など
	後ろにある長い主語・目的語

【解答】

- (3) 英語を一生懸命勉強することは大事です。
- (2) 私が家を出たとき、雨が降っていました。
- (1) 「これは誰のペンですか」「それは私のです。」